

学校運営協議会（第2回）議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	可知 万千代

開催日時	令和4年12月14日（水） 10:00 ～ 11:30
開催場所	府立交野支援学校 校長室
出席者(委員)	藤田 寿夫(会長) 八尾 康則(委員) 古賀 正広(委員) 山埜 朋一(委員) 石堂 蘭子(委員) [欠席：岩出 るり子(委員)]
出席者(学校)	可知 万千代(校長) 南 佐和則(教頭) 長田 登起夫(教頭) 清水 紀行(事務部長) 相馬 寿子(首席) 木下 達夫(首席) 西島 洋美(首席・高等部主事) 坂野 理恵(中学部主事) 上田 悠司(小学部主事)
傍聴者	なし
協議資料	目次、資料1：防災の取り組みについて、資料2：令和4年度学校経営計画及び学校評価 資料3：令和4年度学校教育自己診断アンケート
備考	

協議内容・承認事項（説明・意見の概要）

(1) 校長挨拶

傍聴希望なし、意見箱等に意見書提出なし。

(2) 実践報告「本校の防災の取り組みについて」〈首席（相馬）より〉

【交野支援学校の概要】【本校周辺ハザードマップ】【本校大災害時対応マニュアル】を基に説明
《意見および質疑応答》

- ・丁寧と考えられている。1995年の阪神大震災の際、本校に勤務していた。20数年たって、このような立派なものできて対応ができるということ、感謝している。
- ・自身の勤務する施設ではこの間、コロナのことばかりで、災害についての訓練などはおろそかになっていた。災害時の感染対策が新たな課題として追加が必要。参考にしながら補強していきたい。

(3) 議事

①「令和4年度学校経営計画」進捗状況について 〈校長より〉

第1回学校運営協議会でいただいた意見の確認および全教職員への共有事項の確認。
今回は評価指標に着目して説明。

②「学校教育自己診断アンケート」について 〈首席（木下）(zoomにて参加)より〉

教職員用：回収率100%、児童生徒：小中高16名が回答（昨年度7名）、保護者：回収率64%

- ・アンケート結果の考察と対応策の検討に向けて

(今回の各項目の評価結果と8年間の経過グラフ資料を提示)

検討課題を2点に焦点化（過去8年間平均80%以下の項目中、各分掌委員会等に属しにくい項目）

- 1.教職員 2「児童生徒一人ひとりの興味関心・適性に応じたキャリア教育を行っている。」
- 2.保護者 6「学校は子どもに、自分自身やまわりの人を大切に、社会のルールを守る態度を育てようとしている。」

今後、各学年各分掌各委員会等で分析検討し、第3回学校運営協議会で報告予定。

《意見および質疑応答》

- ・②について

- ・折れ線グラフの平均というのは8年間の平均値か。この資料の構成が1枚目にあればよりわかりやすい。通しのページ番号を入れたほうが説明の際に便利。
- ・保護者6「社会のルールを守る態度」は具体的にわかりやすい質問にしたほうがよい。特に重度の児童生徒の保護者にとっては学校がどのようなことをしているのかが親として想像しにくく答えにくい。
- ・保護者15「進級・進学に際して個別の引継ぎ」具体的にどのようにされているのかわからないので教えてほしい。 →〈各学部主事より引き継ぎについて説明〉
- ・評価するにはアンケートとして問われている内容の実態がわかっていることが前提。「わからない」が18%もある。コロナ禍で情報が思うように共有をとれていない等あると思うが、支援学校は就学前や学校教育からの引継ぎも含め「個別の教育支援計画」を作成しているはず。しっかりと保護者とも連携をして「わからない」の回答がないように工夫してほしい。
- ・自身の勤務する施設でも、府内支援学校からや子ども家庭センターからの情報をもとに支援の継続性を大事にしている。卒業して地域に出ていくときに情報を引き継いで支援にあたるという支援の継続性が大事だと思っている。
- ・保護者6、14、7の項目についてはエモーショナルな質問。22は施設への満足数値が令和元年から倍増しているが理由は何か。
→植木の剪定や体育館の空調設備や諸所の自動水栓化、廊下と教室の細かな段差解消工事や災害時避難スロープの屋根修復等の施設整備、また学習支援員、スクールサポートスタッフが入った掃除や感染対策等、目に見える形で徐々に改善しているので肯定的に評価していただいているのではないか。またソフト面では、コロナ禍での教員の感染対策（給食時のマスク、三角巾、フェイスマスクなど）に対して保護者から「黙食しながら感染予防対策ありがとうございます。」という言葉をいただいた。そのような対策が保護者の方々から良い評価をいただいたのではと思っている。
- ・保護者の方々が実際に見聞きして実態の変化がわかって結果等に出てきたものではないか。
- ・交野支援が学校を運営していく中での苦労や防災など細かくみておられることなど、私の勤務する学校でも学ばなければならないことが多くある。アンケート結果も細かく分析し、その対策を考えられている。参考にさせていただき取り入れていきたい。このような機会をいただいて感謝している。

〈校長より〉

本日のPTA会長（保護者）よりの「実際にどのようにされているのか？」という質問こそが、「わからない」という回答者の代弁。大きな声だと思う。教職員の取り組みが保護者に伝わっていないことが一番課題。保護者が気になっているのは、前担任からどのような形で引き継いでもらっているのかというところ。「個別の教育支援計画」が校内の引き継ぎだけでなく、就学の入り口と進路の出口、あるいは放課後デイサービスなど在学中にも私たちが使っているツールだという意識、その存在意義が保護者に伝わっているのかについても再度確認することの大切さを感じた。本日は貴重なご意見いただき感謝申しあげる。

(4) 今後の予定

- ・第3回は2/9（木）10時から開催できたらと考えている。1月に改めて個別にご案内さしあげる。ご予定いただきたい。

次回の会議日程

日時	2/9（木）午前10時 予定
会場	大阪府立交野支援学校 校長室